

氏名	今北英高	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学、内部障害系理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1991年 3 月信州大学医療技術短期大学部理学療法学科、2000年 3 月広島大学医学部保健学科、2002年 3 月広島大学大学院医学系研究科博士課程前期、2005年 3 月広島大学大学院保健学研究科博士課程後期				
経歴	2005年畿央大学健康科学部講師、2007年畿央大学健康科学部准教授、2009年畿央大学健康科学部教授、2022年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、日本生理学会、日本体力医学会、日本整形内科学研究会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Relationship between physical activity and neighborhood environment in preschool children during COVID-19.-A cross-sectional study using 24-hour activity records.	共著	あり	○	PLoS One . 2024 Oct 29;19(10):e0304848. doi: 10.1371/journal.pone.0304848. eCollection 2024.	Yamaguchi N, Fukumoto T, <u>Imagita H.</u>	2024.10
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	肺気腫症モデルラットに対する加圧酸素および運動介入によるヒラメ筋の変化	共同	第32回日本運動生理学会、金沢		○今北 英高、西井康恵、金村尚彦、藤田直人		2024.8
2	近赤外線分光法を用いた複数の呼吸筋と活動筋における筋酸素化動態測定の信頼	共同	第32回日本運動生理学会、金沢		○ 佐藤直文、奥村崇幸3、新田真之助、小栢進也、 <u>今北英高</u> 、木戸聡史		2024.8
3	固体力学解析による胸郭変位シミュレーション	共同	COMSOL CONFERENCE 2024		○赤間美波, <u>今北英高</u> , 小栢進也, 柚口菜津子, 善田督史, 木戸聡史		2024.12
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	ファシアの基礎と臨床・座長	共著	第29回日本基礎理学療法学会学術大会		木村裕明、小林只、○今北英高		2024.10
2	一般演題・座長	共著	第7回日本整形内科学研究会		<u>今北英高</u> 、並木宏文		2024.11
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C	換気量低下による骨格筋病態変化の関連因子の探索と高気圧酸素下運動の効果			研究代表者	2024.4～2027.3	
2	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C	呼吸器疾患におけるミトコンドリア機能の経時的変化と酸素療法、運動療法の併用効果			研究代表者	2021.4～2025.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	循環系理学療法法の臨床実践	○	8	問診やバイタルチェックなど臨床で使う技術を実践した。
2	内部障害理学療法学		4	内部障害、特に循環器、代謝（糖尿病）についての講義を実施した。
3	大学院 理学療法症候障害論		3	内部障害に関連する研究の現状について講義した。
4	大学院 内部機能障害治療学特論		10	内部障害の介入手法について、その分析法も加え説明した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	大学院 理学療法症候障害演習		3	理学療法研究について大学院生とディスカッションし、方法論について講義した。
2	大学院 リハビリテーション学演習 （内部機能障害治療学）		10	内部障害における臨床での研究手法と、基礎研究との意義や乖離についてディスカッションし、指導した。
3	理学療法セミナーⅠ（OSCE1） （理学療法学科：3年前期必修）		8	臨床教育実習Ⅱに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。
4	理学療法セミナーⅡ（OSCE2） （理学療法学科：3年後期必修）		8	臨床教育実習Ⅲ・Ⅳに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価・治療技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。
5	理学療法研究法演習（理学療法学科：2年後期必修）		1	内部障害疾患（呼吸、循環、代謝系疾患）に関する研究について講義
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	応用運動療法学実習	○	8	3年生次を対象に、内部障害系、特に循環器系、代謝系理学療法に関連する理学療法技術の実習を実施した。
2	内部障害理学療法学実習	○	12	循環器、代謝系理学療法に関連する医学的および理学療法評価について実際の技術を習得させた。
3	臨床推論実習		12	糖尿病の下歯切断症例、慢性心不全、COPDの症例を提示し、医学的情報の取得、理学療法評価項目の列举、理学療法プログラムの一連の臨床的推論を実施した。
4	臨床教育実習Ⅰ（理学療法学科：2年後期必修）		学外実習：2週間 学内：2コマ	理学療法検査・測定についての体験的学外実習。3名担当。
5	臨床教育実習Ⅱ（理学療法学科：3年後期必修）		学外実習：5週間 学内：5コマ	理学療法評価に関する学外実習。3施設担当。
6	臨床教育実習Ⅲ（理学療法学科：4年後期必修）		学外実習：8週間 学内：2コマ	理学療法における評価・治療の総合学外実習。3施設担当。
7	臨床教育実習Ⅳ（理学療法学科：4年後期必修）		学外実習：5週間 学内：2コマ	理学療法における地域リハビリテーション、および特別領域における総合学外実習。3施設担当。
8	IPW実習		集中	4年生IPW実習
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4-2025.3	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 3名
3	博士論文	2024.4-2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 2名

(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2024.4～2024.7	解剖生理学（循環器、血管）について非常勤講師として6コマ担当した。	
2	東京有明医療大学 非常勤講師	2024.5 2024.10- 2024.11	東京有明医療大学の非常勤講師としてリハビリテーション医学Ⅰを2コマ、リハビリテーション医学Ⅱを2コマ、リハビリテーション医学実習を2コマ担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第29回日本基礎理学療法学会学術大会・シンポジスト	一般社団法人 日本基礎理学療法学会	ファシアの基礎と臨床	2024.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	一般社団法人 日本整形内科学研究会	理事		2021.4～2026.3
2	第29回日本基礎理学療法学会学術大会	運営委員・企画部長		2023.8～2024.12
3	埼玉県理学療法学会	学術局編集部		2024.4～2025.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	NHKワールド『medical frontier』	Fasciaと慢性痛についての番組で出演 https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/shows/2050156/		2024.03～現在
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員（大学院）		2022.4～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			